

品目別レポート 調製品（なまこ、水産練り製品）

〔なまこ〕

■品目説明

ナマコは中華料理の高級食材として利用されている。移動性がなく、限られた沿岸域の資源であり、地域の漁業実態に応じた適切な資源管理を実施する必要がある。一方、生産・輸出の拡大に向けては、種苗放流や増養殖を実用化・普及する必要があるとしている（内閣官房に設置された農林水産業の輸出力強化ワーキンググループによる「農林水産業の輸出力強化戦略」（平成28年5月）より）。資源管理の実施にあたっては、地域の資源・漁業状態に応じた禁漁期間（産卵期）の設定、総漁獲量の制限、小型個体の再放流などによる資源の維持などが必要としている。

農林水産省漁業・養殖業生産統計によると、ナマコの生産量は19年、6,500トン。北海道が2,300トン、青森が800トンとなった。

■輸出概況

日本の19年なまこ輸出は前年比4.1%増の2億2,717万ドル。数量ベースでは同15.6%減の949トンとなっている。乾燥や調製品での輸出が多い。主要輸出相手国別にみると、輸出先の首位（金額ベース）は香港で前年比2.0%減の2億161万ドル（シェア88.7%）。数量ベースでは18.0%減の560トン（シェア59.0%）となった。2位は中国で前年比7倍強の2,105万ドル（シェア9.2%）となった。

▼表1：日本のなまこ輸出

（単位：ドル、キログラム、%）

	2017年		2018年		2019年		前年比	
	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量
香港	200,718,631	835,104	205,744,510	684,141	201,614,949	560,739	△ 2.0	△ 18.0
中国	2,071,210	11,068	2,701,896	22,845	21,050,364	213,733	679.1	835.6
シンガポール	524,231	1,926	2,728,975	12,381	2,545,095	12,595	△ 6.7	1.7
台湾	45,798	42	24,262	21	734,585	3,614	2927.7	17109.5
韓国	412,881	89,510	386,959	18,700	408,125	9,550	5.5	△ 48.9
全世界	205,178,910	1,151,888	218,266,929	1,125,980	227,173,187	949,767	4.1	△ 15.6

注：対象はHSコード 0308.11、0308.12、0308.19、1605.61

出所：Global Trade Atlas（IHS Markit）より作成

■海外事情

●香港

香港側の輸入統計をみると、19年のナマコ輸入は前年比17.6%減の2億9,169万ドルとなった。数量ベースでは同22.7%減の4,927トン。主要輸入相手国の首位は日本で前年比23.6%減の1億5,147万ドル、数量ベースで同25.4%減の545トンとなっている。シェアは金額ベースで51.9%、数

量ベースで 11.0%となっている。次いでニカラグアが前年比 23.0%減の 1,606 万ドルとなった。

▼表2：香港のなまこ輸入

(単位：ドル、キログラム、%)

	2017年		2018年		2019年		前年比	
	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量
日本	161,640,558	925,970	198,221,160	731,077	151,478,732	545,220	△ 23.6	△ 25.4
ニカラグア	11,044,145	457,782	20,849,422	829,666	16,062,609	575,588	△ 23.0	△ 30.6
オーストラリア	13,148,383	268,302	9,893,034	160,450	13,905,761	204,140	40.6	27.2
中国	4,552,577	67,017	10,305,395	107,875	11,509,062	142,966	11.7	32.5
スリランカ	5,400,391	176,165	8,502,588	196,569	9,321,965	209,042	9.6	6.3
全世界	320,314,373	6,802,338	353,978,298	6,370,343	291,692,645	4,927,260	△ 17.6	△ 22.7

注：対象はHSコード 0308.11、0308.12、0308.19、1605.61

出所：Global Trade Atlas (IHS Markit) より作成

輸入はほとんどが干しナマコをはじめとする加工品の状態だ。香港では乾燥ナマコは贅沢な贈答品として認知されている。中国政府が実行したいいわゆる「贅沢禁止令」(中央八項規定 8：勤勉・節約の奨励)により、贈答品商品の輸入に大きな影響を及ぼした一方、乾燥ナマコは健康によいイメージがあり、香港の中間層や富裕層の間は普通に消費される食材で一定のニーズはある。

19年の日本からの輸入単価は 277 ドル/kgで、全世界平均の 59 ドル/kgと比較しても、5倍ほど日本産の単価が高い。

〔水産練り製品〕

■品目説明

水産練り製品には、ちくわ、かまぼこ、はんぺん、つみれ、魚肉ソーセージなどがある。かにかまを除き、海外において食べる文化が十分に普及していないため、輸出の拡大に向けては日本の食文化の普及が必要である。一方、加工によって様々な製品を生産することが可能であるため、輸出先国・地域のニーズに応じた商品開発が課題(「第二のかにかま」の開発)である。また加工食品であるため、輸出先国・地域によっては、水産加工施設の高度衛生管理(HACCP等)の対応が必要である(「農水産業の輸出力強化戦略(平成28年5月)」)。

ちくわ・かまぼこ類に限るものの、19年日本の生産量は前年比 2.0%減の 43 万 9,883 トンとなった(一般社団法人食品需給センター「食品製造業の生産動向」)。

■輸出概況

日本の19年の水産練り製品輸出は、前年比6.2%増の1億244万ドル、数量ベースで同1.4%減の12,776トンとなった。輸出相手国の首位は米国で前年比10.3%増の3,461万ドル（シェア33.7%）、数量ベースで0.8%増の3,933トン（30.7%）となった。次いで香港向けが前年比6.0%減の2,665万ドル、数量ベースで同6.9%減の3,629トンとなった。

▼表1：日本の練り製品輸出

（単位：ドル、トン、%）

	2017年		2018年		2019年		前年比	
	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量
米国	28,157,462	3,563	31,380,203	3,901	34,613,530	3,933	10.3	0.8
香港	28,415,691	3,916	28,347,584	3,899	26,657,002	3,629	△ 6.0	△ 6.9
中国	7,363,900	989	13,238,262	1,751	17,879,403	2,182	35.1	24.6
台湾	5,041,341	739	6,289,159	923	6,683,504	905	6.3	△ 2.0
韓国	3,250,097	696	4,279,602	911	2,848,331	548	△ 33.4	△ 39.8
全世界	84,895,088	11,451	96,446,942	12,957	102,440,824	12,776	6.2	△ 1.4

注：対象はHSコード 1604.20-110、1604.20-190

出所：Global Trade Atlas（IHS Markit）より作成

■海外事情

●米国

米国による19年の水産練り製品輸入額は、前年比8.0%増の1億9,513万ドル、数量ベースで同2.0%増の4万7,549トンとなった。国別にみると、1位はタイで、金額が前年比13.8%増の5,518万ドル、2位は日本で同4.0%増の3,671万ドルとなった。

▼表2：米国の練り製品輸入

（単位：ドル、トン、%）

	2017年		2018年		2019年		前年比	
	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量
タイ	44,428,595	13,156	48,493,729	13,975	55,188,997	13,902	13.8	△ 0.5
日本	30,743,820	4,017	35,306,906	4,360	36,716,521	4,796	4.0	10.0
インド	15,157,604	4,493	16,119,578	4,650	17,235,704	4,991	6.9	7.3
中国	20,490,341	9,078	19,395,315	9,124	15,130,080	7,046	△ 22.0	△ 22.8
韓国	10,454,197	2,985	12,162,095	3,337	12,986,885	3,428	6.8	2.7
全世界	163,938,652	43,665	180,609,592	46,637	195,137,563	47,549	8.0	2.0

注：対象はHSコード 1604.20

出所：Global Trade Atlas（IHS Markit）より作成

ロサンゼルス外資系小売店（ローワーミドル向け）における「かにかま（日本産）500g」の価格例は8.99ドル（約989円）などがある（ジェトロ「現地市場価格調査」、2020年4月）。

●香港

香港の19年の水産練り製品輸入額は前年比1.8%増の1億115万ドル、数量ベースでは4.7%減の2万8,676トンとなった。主要輸入相手国別にみると、首位は中国で前年比13.7%増の4,048万ドル（シェア40.0%）、数量ベースで同2.5%減の1万6,605トン（同22.1%）となった。2位は日本で前年比2.7%増の2,242万ドル、数量ベースで同2.8%増の3,015トンとなった。

▼表3：香港の練り製品輸入

（単位：ドル、トン、%）

	2017年		2018年		2019年		前年比	
	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量
中国	27,230,120	15,410	35,623,582	17,026	40,489,868	16,605	13.7	△ 2.5
日本	20,999,996	2,703	21,826,348	2,933	22,421,918	3,015	2.7	2.8
台湾	11,806,445	2,577	11,227,769	2,354	12,405,794	2,622	10.5	11.4
タイ	11,891,238	3,450	12,734,945	3,872	10,005,854	2,793	△ 21.4	△ 27.9
マレーシア	6,721,595	2,203	8,652,067	2,639	8,477,124	2,632	△ 2.0	△ 0.3
全世界	82,737,980	27,239	99,391,772	30,094	101,155,787	28,676	1.8	△ 4.7

注：対象はHSコード 1604.20

出所：Global Trade Atlas（IHS Markit）より作成

市場価格の例では、現地系のローワーミドル向け小売店における「冷蔵かにかま（日本産 250g）」が55.9香港ドル（約802円）、現地の富裕層向け店舗の「小田原の板かまぼこ（日本産 145g）」は35香港ドル（約502円）であった（ジェトロ「現地市場価格調査」、2020年4月）。

本レポートに関する問い合わせ先：
日本貿易振興機構（ジェトロ）
農林水産・食品部 農林水産・食品課

〒107-6006
東京都港区赤坂 1-12-32 アーク森ビル
TEL：03-3582-5186

【免責条項】

本レポートで提供している情報は、ご利用される方のご判断・責任においてご使用ください。ジェトロでは、できるだけ正確な情報の提供を心がけておりますが、本レポートで提供した内容に関連して、ご利用される方が不利益を被る自体が生じたとしても、ジェトロ及び執筆者は一切の責任を負いかねますので、ご了承ください。